

修理報告③

瑞泉寺蔵 紙本墨書「七言詩」

A Report on the Restoration Work at the Calligraphy “shichigonshi” belonging to Zuisenji temple

■ 齋藤 晴香 Haruka Saito

文化財保存修復研究所 研究員

Researcher of Institute for Conservation of Cultural Property, Aichi University of the Arts

作品概要

- 作品名:紙本墨書 七言詩 双幅
- 作者:中山梁文弼
- 所有者:龍蟠山 瑞泉寺(愛知県名古屋市長区鳴海町)
- 修理期間:2016年~2017年
- 寸法:

	修理前	修理後	備考
本紙(「白雲」)	縦 103.5 cm×横 48.9 cm	縦 103.6 cm×横 49.1 cm	
全体(〃)	丈 165.5 cm×幅 59.3 cm	丈 167.4 cm×幅 66.4 cm	
本紙(「小梅」)	縦 103.5 cm×横 48.9 cm	縦 103.6 cm×横 49.1 cm	
全体(〃)	丈 163.2 cm×幅 59.3 cm	丈 167.4 cm×幅 66.4 cm	

○形式 仕様(共通)

	修理前	修理後	備考
表装形体	掛軸装(明朝表具)	掛軸装(明朝表具)	
上下	茶地染色紙	茶地絁	
明朝	白地紙	白地七々子	
筋	濃灰色紙	白地七々子	
軸首	木軸(撥)	木軸(撥 新調)	
保存箱	紙箱	桐屋郎箱	太巻添軸付・二幅入

1. 修理前状況

- 1) 巻閉じにより擦れている箇所がある。
- 2) 表具および本紙全体に折れが入り、皺・亀裂・虫喰による欠損等が見られる。
- 3) 膠着力の低下により本紙・表具ともに浮きが見られる。
- 4) 軸首が各幅で異なる。
- 5) 軸首の塗りが剥がれている。(白雲)
- 6) 紙箱にて保存されている。

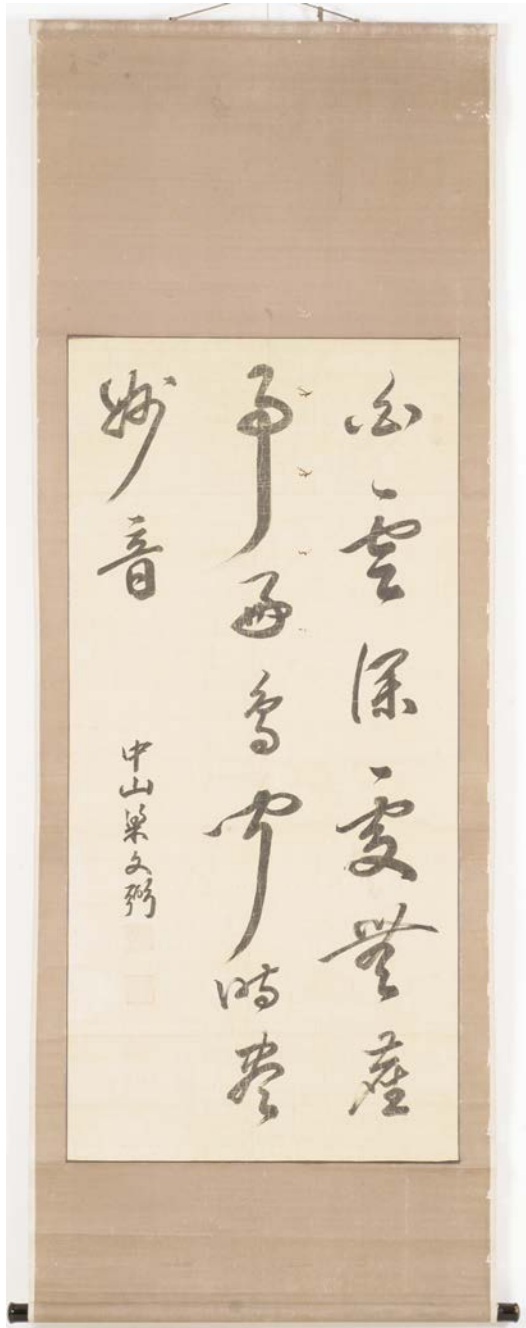
2. 修理工程

- 1) 表具を解体し、墨書部分を2%、全体に1%の膠液を塗布し剥落止めを行った。
- 2) 浄水にて煤出しクリーニングを行ったのち、旧裏打ち紙を除去し、本紙欠損部分に似合いの紙にて繕いを施した。
- 3) 本紙肌裏紙を植物染料にて染色、媒染後、本紙及び表装裂に小麦澱粉糊(以降新糊と言う)を用い、最初の裏打

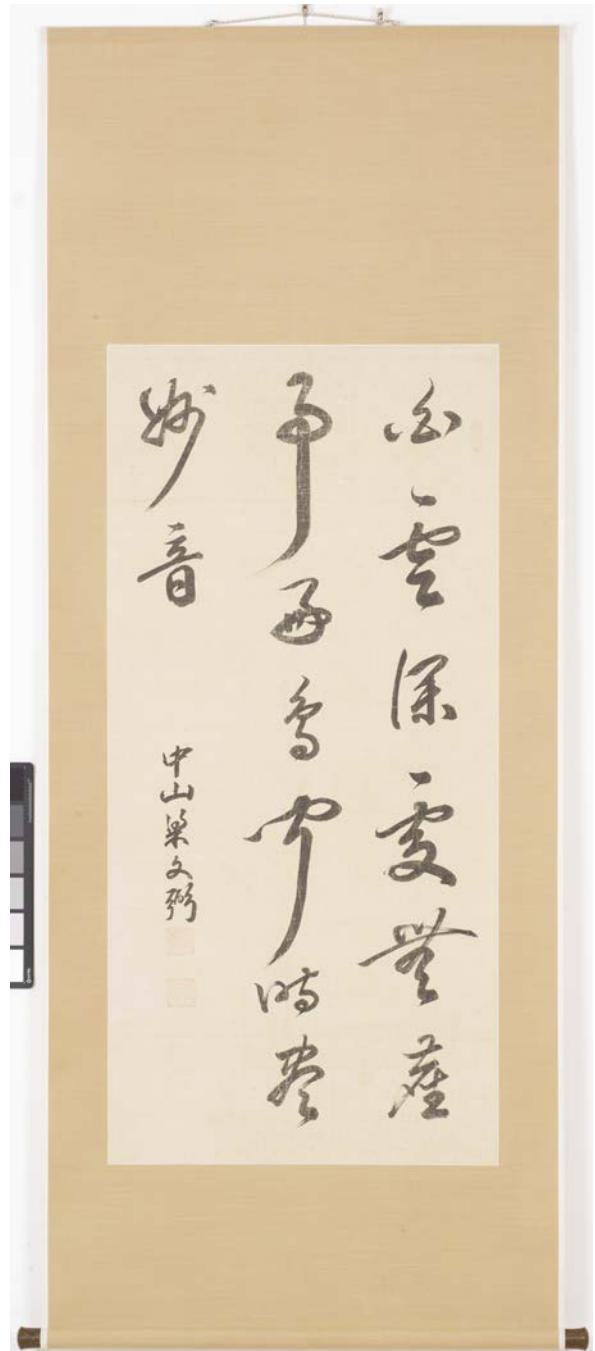
ち(肌裏打ち)を行った。

- 4) 肌裏打ちを終えた本紙および表装裂に、新糊を10年近く保存した糊(以降古糊と言う)を用いて美栖紙で増裏打ちを行い、仮張りにかけて乾燥させた。
- 5) 本紙繕い箇所に、水彩顔料で補彩を施した。
- 6) 仮張り乾燥後の本紙と裂を寸法取りした後、掛け軸装(明朝表具)の形に付け廻した。
- 7) 美栖紙にて古糊を用い中裏打ちした。
- 8) 宇陀紙(中肉)にて古糊を用いて総裏打ちを行い、仮張りして十分に乾燥させた。
- 9) 乾燥期間を終えて仮張りから外した表具に、軸木、八双、啄木を取り付け仕上げた。
- 10) 帙を作成し、新調した桐箱を納めた。

「白雲」

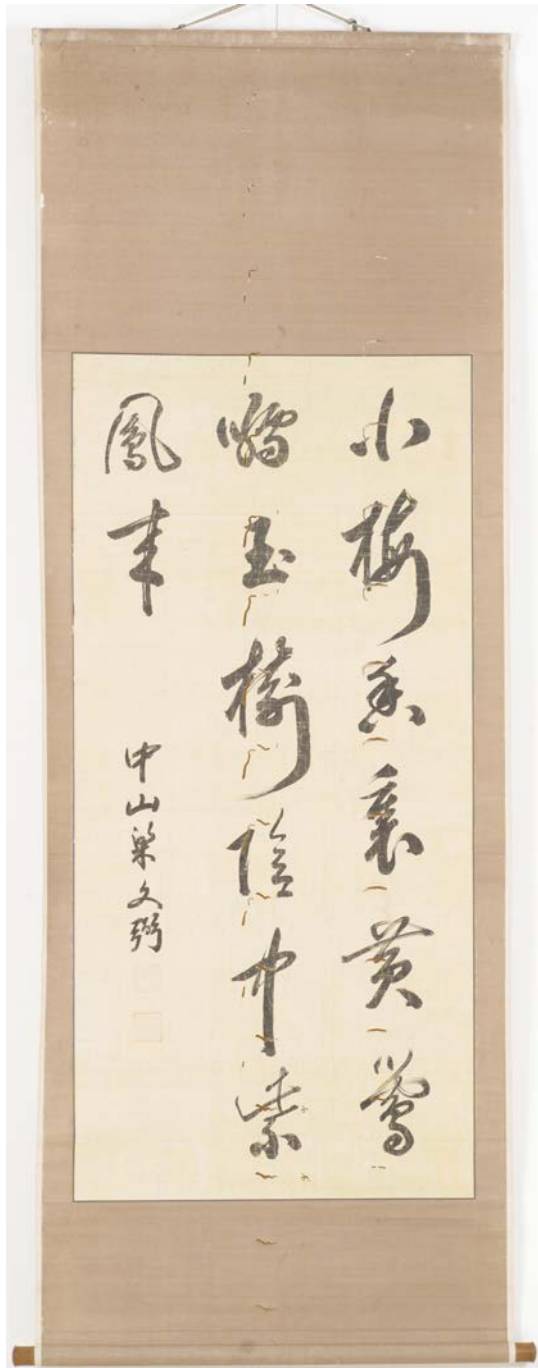


修理前

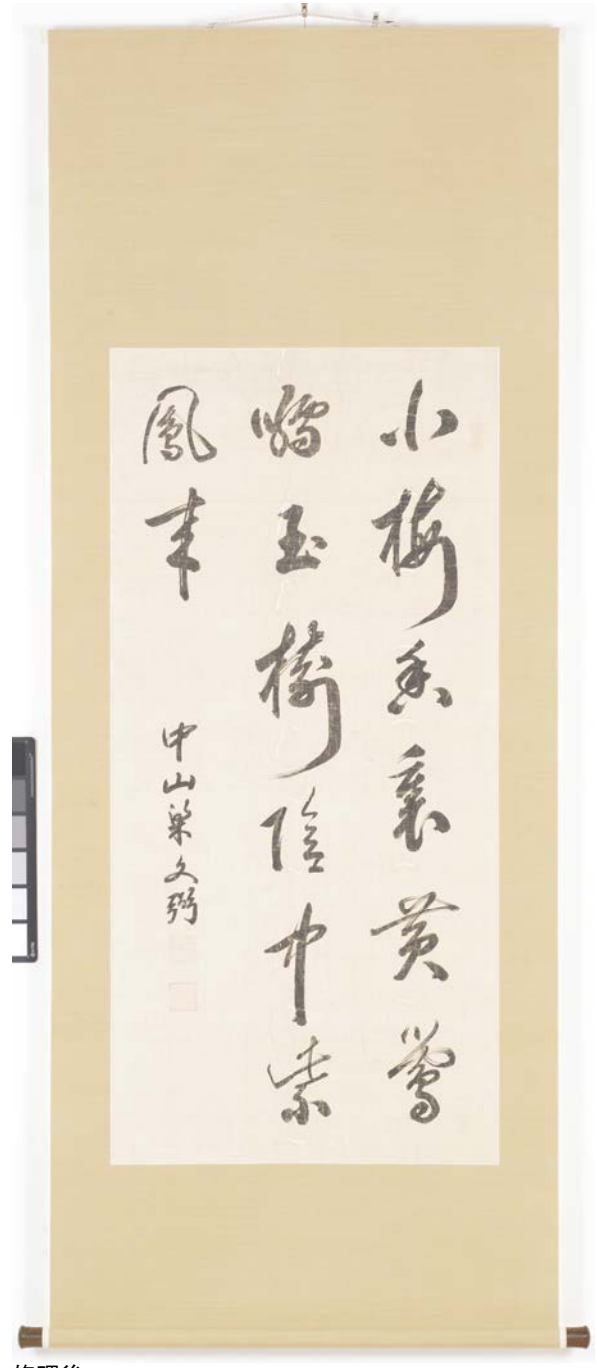


修理後

「小梅」



修理前



修理後